

# ETV特集

2011年8月14日(日)夜10時  
アメリカから見た福島原発事故

## お詫びと訂正

8月14日放送のETV特集「アメリカから見た福島原発事故」で触れた福島第一原発について、  
・格納容器の蓋のボルトが浮いている映像を1号機と紹介しましたが、4号機の間違いでした。  
・非常用ディーゼル発電機が1階から地下に移されたとお伝えしましたが、最初から地下に設置されているものでした。お詫びの上、訂正いたします。

今後、事実の確認に関しては十分注意を払ってまいります。



ゼネラル・エレクトリック社(GE)が手がけた最初の量産型の商業用原子炉マーク1。福島第一原発の1号機から5号機はすべてこのマーク1。

元GE社 技術者:デール・ブライデンボウさん  
1976年に内部告発をしてマーク1の安全性に問題があると訴えた

建設中の福島第一原子力発電所(1号機) 1969年撮影

3.11東日本大震災の地震と津波によって炉心溶融の深刻な事故を起こした東京電力福島第一原発。この重大事故は海の向こう、アメリカで原子炉の設計、研究、規制に関わってきた技術者たちからも大きな注目を集めていた。1966年に着工された福島第一原発は、元々アメリカで設計された原子炉を導入したものだ。マーク1型と呼ばれる。「マーク1」はアメリカの大手メーカー、ゼネラル・エレクトリック社(GE)が手がけた最初の本格的な商業用原子炉だった。

(NHK 同番組ホームページから)

日曜夜午後十時から教養番組「NHKの初音」の番組では、米国の初期の原子炉開発から安全設計、その後の研究開発などを、開発当初の元GE社技術者、原子力規制委員会の農大臣、NPO、消費者団体等の参加を得ての千人シンポジウムを開催する予定だ。

三月に発生した福島第一原子力発電所事故について、米国GE社製の格納容器「マーク1」型の開発・設計に焦点を当ててNHKが十四日、ETV特集「アメリカから見た福島原発事故」を放映した。その放映内容について、東京電力は十六日、V特集「アメリカから見た福島原発事故」を放映した。「事実と異なる内容や誤解を招くおそれのある内容」があったとして、以下三点をNHKに指摘し、同社ホームページにも掲載した。

①非常用ディーゼル発電機の設置場所をタービン建屋一階から地下一階に移動したというが、運転開始当初から同建屋地下一階に設置されており、途中で移動したという事実はない。

②1号機の格納容器頂部が水素爆発の影響で浮き上がり、結果としてボルトが浮き上がったとのナレーションと共に格納容器上蓋のズームアップ画像が紹介されたが、画像は定期検査で燃料交換などのために取り外してあった4号機の格納容器上蓋であって、事実と異なる誤報。

③格納容器ベントに際してフィルタがないとの指摘があったが、格納容器をベントする際にはフィルタと同程度の放射性物質の放出抑制が可能とな水を通しての放出「ウェットウエル・ベント」を採用しており、映像資料にも「wetwell vent」の文字が書かれていたにもかかわらず、このことには一切ふられていない。

これら指摘を受けてNHKでは、①と②については間違いを認め、ホームページ上の同番組紹介画面のトップに「お詫びと訂正」として掲載した。「今後、事実の確認については十分注意を払っていく」としている。

来年度設置される原子力安全庁(仮称)の所管となる原子力安全基盤機構(JNES)の役員公募が締め切れ、応募状況が公表された。理事長には二名(うち公務員OBなし)、理事一名には四名(同一名)、監事一名に十五名(同一名)が応募し、選挙結果については九月上旬には明らかになる予定。

基盤機構役員の応募状況

## 知事先頭に風評被害解消めざす

### 福島県 全国で販売イベントなど開催へ

福島県は十七日、風評被害の解消にむけ全国的に福島県産農産物の安全性をアピールする「ふくしま新発売」プロジェクトをスタートさせた。



「ふくしま新発売」プロジェクトのサポーターとして、女優の三田佳子氏、福島県古殿町の料亭で総料理長を務める野崎洋光氏、スポーツジャーナリストの佐藤雄平氏らが、プロジェク

同日、東京・千代田区の都道府県会館で発足発表会(II写真)が開かれ、佐藤雄平知事がこのほど策定した「福島県復興ビジョン」と「ふくしま新発売」プロジェクトの概要を紹介した。発表会には、プロジェクトのサポーターとして、女優の三田佳子氏、福島県古殿町の料亭で総料理長を務める野崎洋光氏、スポーツジャーナリストの佐藤雄平氏らが、プロジェク

内外の農大臣、NPO、消費者団体等の参加を得ての千人シンポジウムを開催する予定だ。経済研究所長、青柳長紀・元日本原子力研究所研究員、田辺有輝・環境・持続社会研究センター理事が、参考人として意見を発表した。服部理事長は、世界は日本の技術力と経験に強い期待を抱いていると、人材育成や耐震設計技術、品質管理システムなどを通じて福島第一原子力発電所事故の教訓に基づいた最高水準の安全性確保に貢献していくことの重要性を強調。その後の質疑にも実際に同国サイトを訪れて十分な水量の確保等がなされることを確認したと述べた。同委員会は次回二十

## 放射線計測器を販売

パーソナル販売を展開する株式会社サードウェアは、このほど、ウクライナの関連団体と連携し、放射線測定機器の安定供給と被ばく抑止に関する情報の提供事業を開始した。社会貢献事業のひとつとして、安全環境事業部を設置し、事業を展開することとした。

## 霧箱などで放射線について学ぶ

オープンスクール 日本原子力学会の関東支部は二十一日、東・中越支部は二十一日、原子力オープンスクール「はつしゃせん」について、

霧箱実験、万華鏡工作(II写真)、放射線計測、3D紙芝居の四つのコーナーを通じて放射線への理解を深める工夫がこらされており、全てのコーナーを体験した参加者には修了証が渡された。また出口付近には、なすやさつまいもなどの新鮮野菜を含む福島物産を販売するコーナーもあり、多くの来場者が立ち寄っていた。

**TNSは エネルギーエンジニアリングのあらゆるステージであなたをサポートします。**

TNSは原子力・アイソトープに関する高度な知識と技術を駆使し、設計から施設の廃止にいたるまでのあらゆる段階でサポート業務を展開するとともに、先端技術分野における研究・開発においても質の高いサポートを提供いたします。

**安全設計・評価**

- 施設設計
- 遮蔽設計
- 安全評価
- RI施設の申請業務代行

**研究及び技術開発サポート**

- 研究サポート
- 技術開発サポート

**工事**

- 施設の保守・点検
- 施設の解体工事
- 施設の改造工事

**施設の管理・運営**

- 大規模施設の運用・管理
- 放射線管理

**受託試験研究**

- 環境物質の分析
- 環境物質の挙動解析
- トレーサー試験
- 解体廃棄物の管理特性試験

**機器販売**

- 放射線管理区域の空調機器の販売
- 放射線管理区域用機器の製造・販売

**TNS 東京ニューロギア株式会社**

東京本社 : 東京都台東区台東1-3-5(反町ビル7F) 〒110-0016 TEL.03(3831)7957  
 東海営業所 : 茨城県那珂郡東海村松字平原3129-31 〒319-1112 TEL.029(282)3114  
 つば開発センター : 茨城県つくば市緑ヶ原4-19-2 〒300-2646 TEL.029(847)5521  
 大阪事務所 : 大阪市中央区内本町1-2-5(YSKビル5F) 〒540-0026 TEL.06(4792)3111  
 六ヶ所事業所 : 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附1-4 〒039-3212 TEL.0175(71)0710